

第1章 調査概要

報告書のみかた

- (1) 比率はすべて、各設問の不明・無回答を含む集計対象者数（付問では当該設問回答対象者数）に対する百分率（%）を表している。1人の対象者に2つ以上の回答を求める設問（複数回答設問）では、百分率（%）の合計は、100.0%を超える場合がある。
- (2) 百分率（%）は小数第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示した。1つだけ回答を求める設問（単数回答設問）では、四捨五入の関係上各選択肢の百分率（%）の合計が100.0%にならない場合がある。また、2つの選択肢を集約した場合（「満足」と「どちらかといえば満足」を合計した『満足度』など）は、該当選択肢の回答数の合計から割合を算出しているため、グラフに示した選択肢ごとに算出した割合の合計と一致しない場合がある。
- (3) 本文や図表中の選択肢表記は、語句を簡略化している場合がある。
- (4) 図中の「N」は集計対象者数（あるいは、分類別の該当対象者数）を示し、各選択肢の回答比率は「N」を集計母数として算出した。
- (5) 回答者数は、各地域の抽出率の差を調整するため、回収数にウェイトを加重し規正した。これは標本数の配分にあたり、湖西地域は他の6地域（大津、湖南、甲賀、東近江、湖東、湖北）の2倍のウェイトを加重して抽出したためである。

1. 調査目的

県政全体に関する満足度と県政の当面する主要課題等をテーマに選び、県民の意識・意向を調査し、今後の県政をすすめるうえでの基礎資料とする。

2. 調査期間

平成30年6月1日（金）～平成30年6月20日（水）

3. 調査設計

調査地域	滋賀県内全域
調査対象	県内在住の満18歳以上の個人
標本数	3,000人
抽出台帳	選挙人名簿
抽出方法	層化二段無作為抽出法
調査票	日本語

4. 調査方法

郵送法・オンライン調査法*の併用、無記名方式、督促1回

※オンライン調査は、県が運用している「しがネット受付サービス」（インターネットを利用して申請や申込等の手続きができるサービス）の利用によることとした。全対象者に、個別の「利用者ID」と「パスワード」を付与し、「しがネット受付サービス」内の「滋賀県政世論調査」のフォームにログインして、回答してもらった。

5. 調査機関

株式会社 地域未来研究所

6. 調査項目

- (1) 県政全体に関する満足度について
- (2) 県の広報・広聴活動について
- (3) 「環境こだわり農産物」および「有機農産物」について
- (4) 琵琶湖周辺の保全と利活用について

7. 標本構成

(1) 層化

県内の市町を7地域に分類した。

大津	大津市
湖南	草津市、守山市、栗東市、野洲市
甲賀	甲賀市、湖南市
東近江	近江八幡市、東近江市、日野町、竜王町
湖東	彦根市、愛荘町、豊郷町、甲良町、多賀町
湖北	長浜市、米原市
湖西	高島市

(2) 標本数の配分

各地域規模の層における18歳以上の人口を基に、ウェイト補正（「(4)調査結果の集計表示方法」を参照）を行って3,000人の標本数を比例配分した。

	推定母集団（人）	標本数（人）	地点数（地点）
大津	281,190	706	48
湖南	267,258	671	45
甲賀	117,682	296	21
東近江	187,671	472	33
湖東	126,089	317	25
湖北	129,450	325	23
湖西	42,378	213	15
合計	1,151,718	3,000	210

注1) 抽出地点は、平成27年度国勢調査時に設定された調査区を使用した。

注2) 推定母集団は、平成30年3月1日現在の「選挙人名簿定時登録者数」から算出した。

(3) 調査票の回収結果

有効回答数は1,526件で、有効回収率は全体で50.9%となった。

なお、インターネットで重複回答があったものについては、最初の回答のみを有効とした。

	標本数 (人)	有効回収数 (件)		有効回収率 (%)	※参考 ネット回答割合
			うちネット回答		
大津	706	371	59	52.5	15.9%
湖南	671	341	50	50.8	14.7%
甲賀	296	137	10	46.3	7.3%
東近江	472	253	30	53.6	11.9%
湖東	317	149	16	47.0	10.7%
湖北	325	163	17	50.2	10.4%
湖西	213	107	6	50.2	5.6%
不明・無回答		5	0	—	0.0%
合計	3,000	1,526	188	50.9	12.3%

※ネット回答割合は、有効回収数（郵送+オンライン）に占めるネット回答の割合

(4) 調査結果の集計表示方法

各地域とも統計的な信頼度が確保できるように、以下のとおりの標本数と抽出ウェイトとしている。

地域別の抽出数が異なるため、有効回収数に集計ウェイトを加重し補正した。調査結果は、この「規正標本数」を基数として集計を行った。

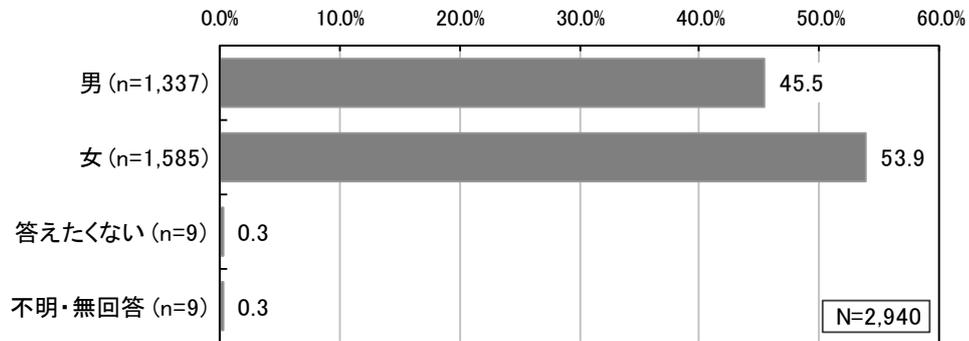
	抽出 ウェイト	標本数 (人)	有効回収数 (件)	集計 ウェイト	規正標本数 (件)
大津	1 / 2	706	371	2	742
湖南	1 / 2	671	341	2	682
甲賀	1 / 2	296	137	2	274
東近江	1 / 2	472	253	2	506
湖東	1 / 2	317	149	2	298
湖北	1 / 2	325	163	2	326
湖西	1	213	107	1	107
不明・無回答			5	—	5
合計	—	3,000	1,526	—	2,940

8. 回答者の属性

ここでは回答者の属性について、性別、年代別、居住地別、職業別、勤務地（通学地）別、居住歴別にみた結果を示す。

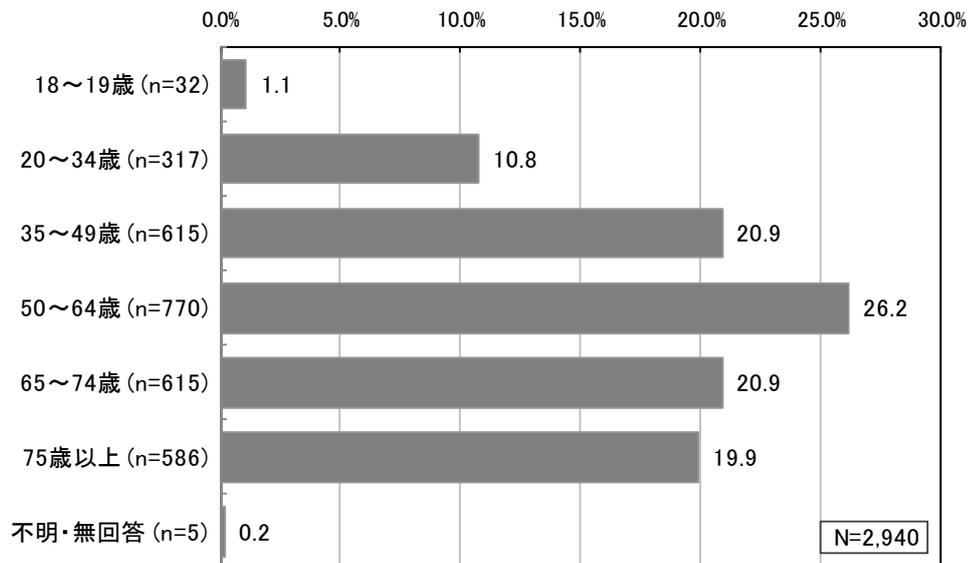
（1）性別

性別は、「女」が53.9%、「男」が45.5%となっている。



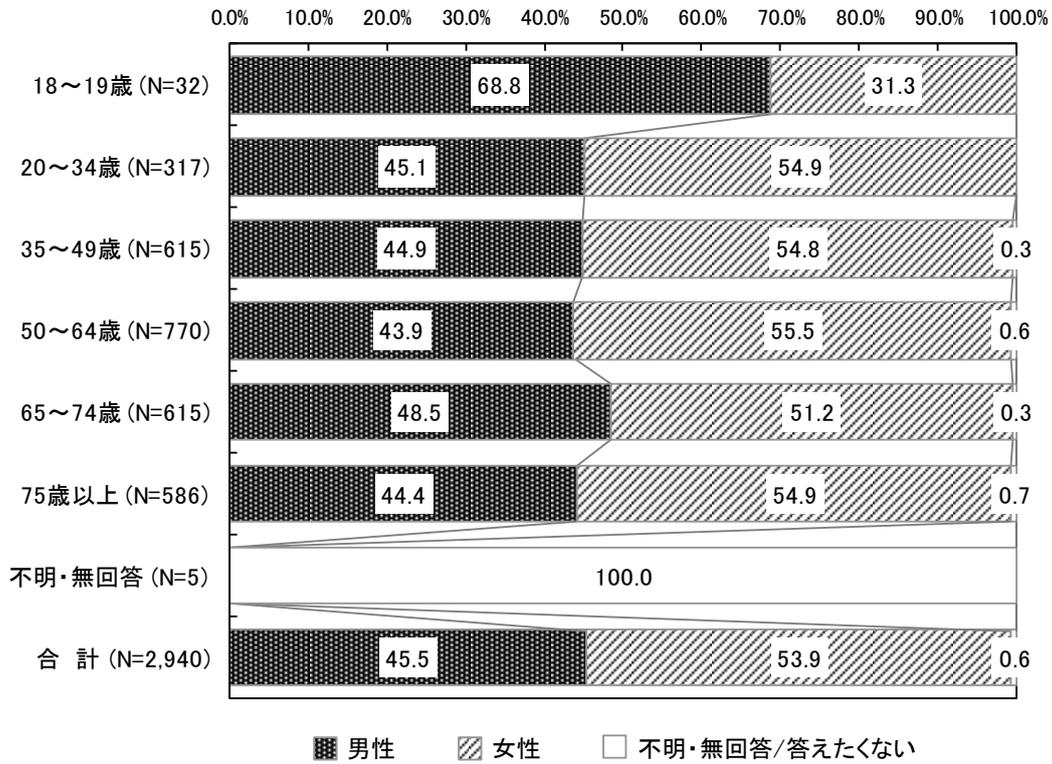
（2）年代別

年代は、「50～64歳」が26.2%で最も多く、以下、「35～49歳」と「65～74歳」が同率（20.9%）で続いている。



(3) 性・年代別

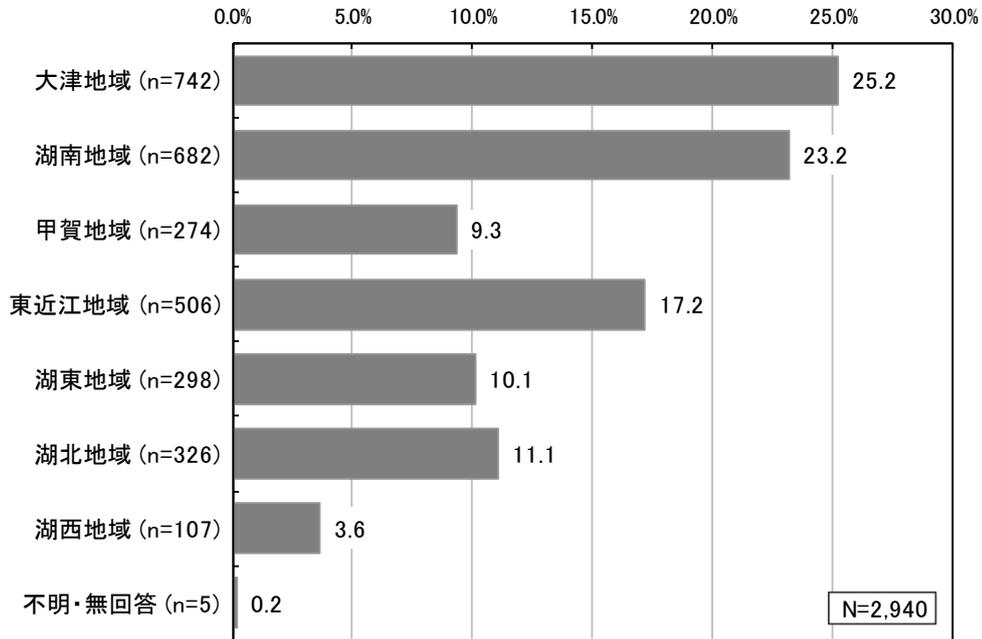
性・年代別の構成をみると、20歳以上は女性が50%以上を占め、男性の比率を上回っている。18～19歳では男性が女性を上回っている。



	規正標本数 (件)	男性 (%)	女性 (%)	不明・無回答/ 答えたくない (%)
18～19歳	32	68.8	31.3	0.0
20～34歳	317	45.1	54.9	0.0
35～49歳	615	44.9	54.8	0.3
50～64歳	770	43.9	55.5	0.6
65～74歳	615	48.5	51.2	0.3
75歳以上	586	44.4	54.9	0.7
不明・無回答	5	0.0	0.0	100.0
合計	2,940	45.5	53.9	0.6

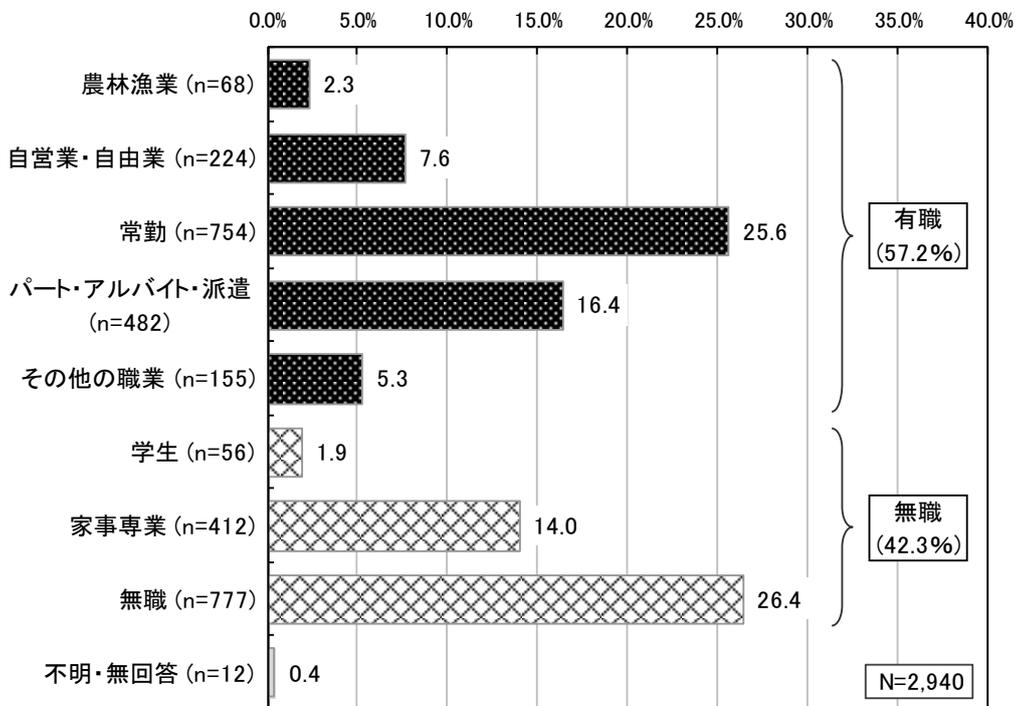
(4) 居住地域別

居住地域は、「大津地域」が25.2%で最も多く、以下、「湖南地域」が23.2%、「東近江地域」が17.2%と続いている。



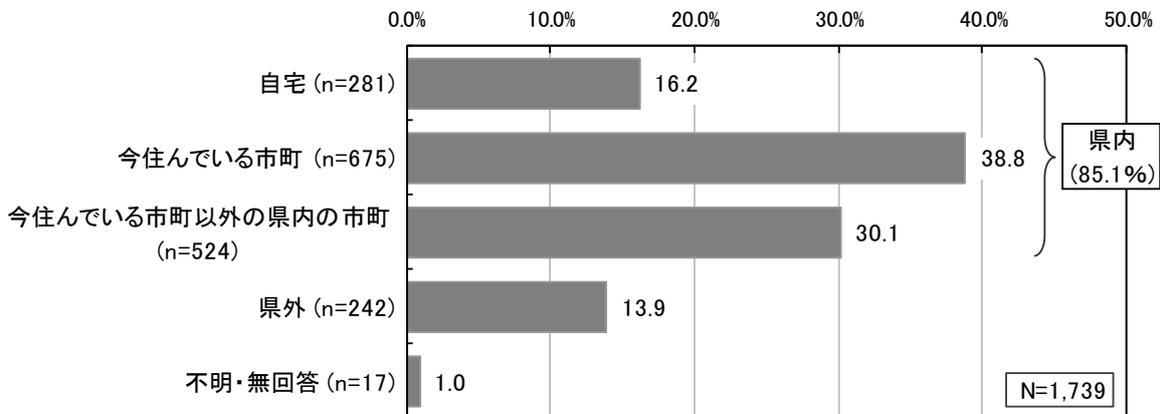
(5) 職業別

職業は、『有職』が57.2%となっており、そのうち「常勤」が25.6%で最も多く、次いで「パート・アルバイト・派遣」が16.4%となっている。これに対して『無職』は42.3%となっている。



(付問1) 勤務地(通学地)別

「農林漁業」「自営業・自由業」「常勤」「パート・アルバイト・派遣」「その他の職業」「学生」と回答した人に対して、勤務地(通学地)をたずねたところ、「今住んでいる市町」が38.8%で最も多く、次いで「今住んでいる市町以外の県内の市町」が30.1%となっている。



(6) 滋賀県での居住歴別

居住歴は、「生まれてからずっと滋賀県に住んでいる」が43.9%で最も多く、次いで「県外で生まれて滋賀県へ転入した」が38.8%となっている。



(付問1) 滋賀県転入後の居住年数別

「滋賀県で生まれて、県外に転出後、再び転入した」と「県外で生まれて滋賀県へ転入した」人に対して、転入後の居住年数をたずねたところ、「10年以上」が81.2%で最も多くなっている。

